



第 6 3 7 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会  
編集 三 好 治 雄  
発行人  
大阪市西区新町 1 丁目 5 番 7 号  
四ッ橋ビル  
TEL 06(6531) 9 7 1 7・5 9 1 0  
定価 1 部 60円



## 平成19年の新春を迎えて

財団法人 大阪府危険物安全協会  
理事長 三 好 治 雄

平成19年の年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

当協会の昨年の事業運営も順調に推移することができましたが、これも日頃から、皆様のご指導とご支援の賜物と心から厚くお礼申し上げます。

また、「危険物新聞」ご愛読の皆様方には、日頃から危険物の保安と安全思想の普及啓発にご尽力いただき、心から敬意を表しますとともに深く感謝申し上げます。

当「危険物新聞」も、新年号から紙面をA4版としまして読みやすくしましたほか、今後も皆様方のご期待に沿うよう充実した編集に努めてまいりますので、よろしく願い致します。

さて、昨年を振り返ってみますと、1月17日に愛媛県今治市で発生しました、タンク残油抜き取り作業中の火災及び爆発事故により、死者5名、負傷者2名が発生した大惨事は記憶に新しく残っているところでありますが、その後は、幸いにしてこうした大規模な事故は発生しておりません。しかし、全国的には火災件数は減少に転じたものの、漏洩事故件数は大幅に増加し、危険物施設での事故は580件と前年より更に増加しまして、消防庁が統計を取りはじめて以来、過去最悪の事故件数となっております。

近年、社会情勢の急激な変化の中で危険物による災害は複雑多様化し、その取り扱いを誤れば火災や爆発等で尊い人命や財産を一瞬にして奪ってしまう大惨事となり、細心の注意と安全確保に努めていかなければならないと考えております。

また、自然災害に対する対策も重要な課題であり、特に地震発生時における危険物施設での被害を最小限に抑えるためには、法令等で定められたもののほか、事前対策や地震発生時における対策及び地震後の再開時の対策等が必要であり、各危険物施設の実態に即した地震対策を積極的に推進していくことが重要であります。

このような情勢の中で、当協会といたしましても危険物事故の防止のため、各地区協会及び関係機関と綿密な連携を図りながら、危険物取扱者保安講習と受験準備講習の更なる充実を努め、危険物取扱者の育成並びに保安教育の徹底を図るほか、各施設の管理者及びその管理運営に携わっておられる全ての関係者に対しまして、安全思想の普及啓発と危険物による火災・漏洩・爆発事故防止をはじめ、あらゆる災害防止と地域社会の防災管理に鋭意取り組み、「誰もが安心して暮らせる人間性豊かな災害のない街づくり」に努めてまいり所存でありますので、皆様方のご協力とご支援をお願い申し上げます。

終わりにになりましたが、輝かしい平成19年も災害のない明るい年でありますよう、役職員一同、心新たに当協会の使命達成に全力を傾注してまいりますので、本年も昨年同様、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。





## 平成19年（2007年）知事年頭所感

大阪府知事 太田 房江

新年あけましておめでとうございます。

いよいよ2007年の幕が明けました。今年の干支は、子（ね）で始まる12支の中でも一番最後をしめくくる「亥（いのしし）」。

猪突猛進の字のごとく、わたくしも知事2期目の総決算のこの年を、持てる力のすべてを出して、全力で駆け抜けてまいりたいと思います。

今年は「アジアのにぎわい都市・大阪」をしっかりと定着させ、“再生から成長へ”とアクセルを踏み込んでいく正念場の年です。

夏には「世界陸上2007大阪」が大規模に開催され、これを皮切りに、秋には世界各地の華僑（中国系企業経営者）が一堂に会する「世界華商大会」や、大阪府が呼びかけ人となって、アジア主要都市の首長が大阪に集まり、アジアの未来を話し合う「アジア主要都市サミット」が開催されるなど、アジアとの交流が盛り上がり、そしてかつてない強い絆で結ばれる年になると思います。もちろん、2008年の関西・大阪サミットの実現にも全力で取り組んでまいります。

また、これらの取組みを後押しするかのよう8月にはいよいよ、大阪・アジアのゲートウェイである関西国際空港の第2滑走路が供用開始を迎えます。わが国で初めての長距離複数滑走路を備えた24時間フル運用の空港として、国際交流、観光、物流などさまざまな面で大きな役割を果たすものと期待しています。

この好機をとらえ、一気呵成に大阪の魅力、活力を国内外にアピールし、アジアでの存在感を飛躍的に高めたい、このような決意で臨んでまいります。

21世紀に入り、東京一極集中がさらに進んでいると言われますが、外国の方々とお会いすると、大阪には大阪の魅力があるので、気にせずもっと自信を持って海外にPRしたらよい、と励まされます。私も確かに今、様々な分野で大阪はしっかりとした実力を貯えてきていると思います。

経済の分野では、全国平均を上回る数値で推移する有効求人倍率など、様々なデータが確実に大阪の景気回復を示しています。バブル崩壊後の厳しい経済情勢のなか、官民一体となった地道な産業再生政策への取組みが、着実に実を結んだ結果だと思えます。

そして大阪経済はいま、「再生」から「成長」へ、「回復」から「拡大」へと大きく転換を果たしてきておりますので、これを継続させ確実なものとするため、今年度内に「大阪産業・成長新戦略」を策定し、新たな布石を打ってまいります。キーワードは「ものづくり」。大阪には、バイオやロボット、情報家電などの成長有望分野と、それを支える中小企業のものづくり基盤技術の集積があり、これらを連携させてその相乗効果により、大阪をものづくりの「スーパークラスター」にしていきたいと構想しています。

未来を担う子どもたちのための取組みも手を緩めることなく進めていきます。

昨年はいじめを受けた中学生が自ら命を絶つという、あってはならない悲しい事件が発生し、胸の裂ける思いがいたしました。

人を思いやる心、そして何より生命を大切にするという、人として最も大切なことを、いま一度見つけなおすよう、学校だけでなく家庭、地域が一緒になって取り組んでいく必要があります。

大人と子どもが本気で向き合おうという「こころの再生」府民運動をさらに広げ、“ほめる、笑う、叱る”を「あい言葉」に心温かい社会をめざしていきたいと考えています。

大阪の元気を実現するためには、府の行財政基盤をしっかりとさせなくてはなりません。この10年、「財政再建団体転落の危機回避」を最大の目標に、全国に先駆けて数次にわたる厳しい行財政改革を推進し、「危機回避」という再建の“第1ステップ”を乗り越える目途が立ちました。そして、再生への“第2ステップ”として昨年、赤字構造からの脱却と次世代への負担を抑制するための道筋をつけるため、22年度の単年度黒字などをめざす「大阪府行財政改革プログラム（案）」を策定しました。

歳入、歳出両面で徹底した改革努力をさらに続け、プログラムにかかげられた目標を確実に達成してまいります。

結びに、大阪府政の推進に、皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたしますとともに、本年が皆様一人ひとりにとって実り多いすばらしい年となりますよう心からお祈りいたします。





## 新年を迎えて

大阪府下消防長会

会長 森 口 清太郎

平成19年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は、大阪府下消防行政の各般にわたり、深いご理解と温かいご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、7月には梅雨前線の活発な活動による大雨の被害、9月には台風13号と豪雨による被害、11月には北海道佐呂間町の竜巻による被害など、自然が猛威を振るい、国内の各地において、甚大な人的・物的被害が発生しましたことは、皆様のご記憶にも新しいところでございます。

近年、地震の発生も相次いでおり、近い将来に発生すると危惧されている東南海・南海地震の影響が懸念されるところであり、自然災害に対する備えがますます重要でありますことは勿論のこと、さらには、大規模なテロや武力攻撃による被害に対する備えも求められているところであります。

このような状況の中、大規模な災害に備えるために、施設や設備などの適正な維持管理はもとより、災害が発生した場合における対応要領の確認や自衛消防訓練、防災教育の実施、定期点検や日常点検の励行などのたゆまぬ保安対策の充実・強化をお願いしたいと存じます。

一方、危険物施設等の事故発生状況に目を向けますと、大阪府下におきましては、皆様のご尽力により特筆すべき大きな災害は発生しておりませんが、残念ながら全国的に火災・漏えい事故は増加傾向が続いております。過去の災害事例で明らかなおおりに、危険物施設等において事故が発生いたしますと、地域住民の安全を脅かすような大きな災害となるおそれがあります。災害を未然に予防するとともに、万一発生した場合に被害を最小限に止めるためには、各事業所における自主努力が不可欠でございますが、消防機関といたしましても、事故事例などの情報の提供、共有化を積極的に推進してまいりたいと存じております。

また、社会情勢の変化や科学技術の進歩による新技術や新素材の開発や活用が予想され、各事業所における危険物取扱い設備の形態や危険物の取扱工程も多種多様なものになっていくと思われれます。それに伴い、事業所に潜在する危険要因も、事業所ごとに多様化・個別化が進みますことから、自らの事業所の危険は、自ら把握し、その対策を確立・実践し事業所の安全を自主的に確保することがますます重要となってきています。

皆様方におかれましては、地域社会における安全確保の重要性を今一度ご認識いただき、災害の未然防止のため、より一層の自主保安体制の確立・整備にご尽力いただき、安全で快適なまちづくりに寄与していただきますよう重ねてお願い申し上げます。

結びになりましたが、本年が災害のない平穏な年でありますとともに、皆様方の事業のますますのご発展と、ご健勝ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。



## 新年を迎えて

財団法人 全国危険物安全協会  
理事長 山越 芳男

平成19年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

財団法人全国危険物安全協会は、設立以来、関係行政機関のご指導や財団法人大阪府危険物安全協会のご支援により、順調な発展をたどっており、この機会に改めて皆様方に対し、心から感謝を申し上げます。

当協会としては、新年度において次のような事項を中心に事業を積極的に展開してまいりたいと存じます。

第一は、当協会において最も重要な事業である危険物に関する安全思想の普及啓発であります。今後とも、県危連、地区協会、事業者等の皆様方と相協力して、危険物安全週間の推進を最重点に、広報資料の配布、研修会の実施等の諸事業を積極的に行っていく所存であります。また、昨年度には、ホームページ上に、災害事例のアニメーションを配信するなど、広く危険物取扱者の意義を訴えてまいりましたが、今後も、IT技術を最大限に活用した広報活動や情報交換を推進してまいります。

第二は危険物施設の定期点検制度の充実強化であります。危険物施設からの危険物の漏れの未然防止と拡大防止の局限化を目指し、講習内容の充実をはじめ、認定事業所のレベルアップと点検済証の更なる信頼性の確保を図るよう努めてまいります。

第三は危険物取扱者の法定講習等に対する支援協力であります。危険物取扱者の法定講習は、現在、そのほとんどが、都道府県から県危連に委託されておりますが、新年度も講習レベルの維持向上を図るため、最新の災害事例を取り入れるなど、保安講習用教材の改訂を進めてまいります。

第四は、危険物の安全管理に関する調査研究であります。昨年度、地下漏洩施設の土壌診断等を元に地下タンクの健全性の評価手法に関する調査研究を行ってまいりましたが、新年度はこれらの結果の検証と健全性の確保方策について調査研究を進め、危険物の漏洩拡大の未然防止に積極的に取り組んでまいります。

なお、危険物災害防止対策推進のための消防機関支援事業、ISO審査登録業務(日本適合性認定協会認定)についても、引き続き推進してまいります。

以上、当協会の事業の概要を申し上げましたが、新たな年を迎えたこの時期に、財団法人大阪府危険物安全協会の皆様と更なる緊密な連携を図り、関係の地区協、事業者の皆様とも力を合わせ、地域の安全・安心に寄与する活動を幅広く実施してまいり所存であります。

結びに、財団法人大阪府危険物安全協会の一層の御発展と、三好理事長をはじめ関係の皆様のおますますのご活躍をお祈りして、新年のご挨拶といたします。



安全への道 68

東南海・南海地震への備えを

(財)大阪府危険物安全協会

専任講師 三村 和男

十勝沖地震 (2003年、M8.0) からはや三年余りが経つ。苫小牧地域内の1,000kl以上の石油タンク170基 (全体の58%) が被災、そのうち8基に甚大な被害があった。これまでに経験したことがなかった屋外タンクの浮屋根が沈没し、うち1基が全面火災となり延々44時間にわたって燃え続けた。(このために全国の備蓄泡消火剤の約40%が使用された) 漏洩した原油が防油堤内に全面滞油 (2基) したのもあった。浮屋根タンクの全面火災は新潟地震のときにもあった。

このような十勝沖地震の重大な被害は、長周期地震 (4~10秒) によるもので、タンク液面のスロッシングの固有周期 (7~12秒) との共振が原因であったと推定されている。新潟地震のときも同様のことが起こっていた。しかし、その後、長周期地震についての関心がうすれ、対応策について十分検討されてこなかった。

兵庫県南部地震では、1,000kl以上の石油タンクには被害はなかったが、長周期地震であれば同様のことが起こる可能性があり、検証しておく必要がある。大型石油タンクの全面火災対応についてもできるだけ早期確立をしておかねばならない。

今世紀の前半には起こるであろうといわれている東南海・南海地震に備えるため、十勝沖地震の教訓を生かさねばならない。

新しく制定された「東南海・南海地震対策特別措置法」が2003年7月に施行された。政府、防災戦略によると死者、経済被害を今後10年で半減する目標値が示されている。(死者17,800人→9,100人、経済被害57兆

円→31兆円) いかにも具現化するかである。今後の10年間で大きな一つの勝負であろう。

そこで、もう一度、新潟地震における製油プラント等での被害状況を思い返してみたい。次のような記録が残っている。

強大な地震力は、3万klの原油タンクの浮屋根約200トンが容易にタンクの外へはみ出すほどだった。ある化学プラントでは、アセチレンガスホルダーの水封が切れてガスが吹き上げた。もし着火源があれば爆発するところだった。消防隊が封水し、重大事故を防止できた。

また、津波により信濃川から溢流した水が製油所内に浸水したところへ、1,000klのガソリンタンク底部の液抜き管の根元が地震で折損 (かなり腐食していた)、全量が漏出、ガソリンの海となった。同プラントの近くにあった倉庫内の還元鉄が水と反応、その発熱が着火源となって全面火災となった。

兵庫県南部地震では、危険物の大量漏洩こそはなかったものの不等沈下により、あわや配管が破損し、大量漏れの危険箇所は少なかった。コンクリートリング基礎に設置された2000㎡の消火用水タンクが座屈破損し全量漏れた。

1944年の東南海地震から約60年間続いた静穏期も、同地震を境に活動期に入ったといわれている。巨大地震が自分の足元で、いつ起こってもおかしくないとの危機意識を持たねばならない。目の前に生々しい事態がなければ何もしないのでは危機意識も育たない。

新年に当って、心あらたに、地震災害に強い企業を目指して欲しい。強いとは、平素から関心を持ち、過去の貴重な教訓と新しい耐震技術や知見を生かし、地震に対する弱点の把握、必要な対策を計画的に実現していくことを意味している。

かつて、筆者が作成した「地震による危険」を参考までに紹介したい。

50年から100年に一回起こるかも知れない巨大地震への対応は、決して容易なことではないが、前向きに取り組んでいくことは、企業にとって重要課題の一つであることに違いない。



ボックス式 危険物貯蔵庫

簡単に設置可能な少量危険物屋外貯蔵庫です。



指定数量未満対応1坪タイプ  
外形寸法: W2,150×L1,500×H3,070  
(税込本体価格)  
**¥ 682,500**

(価格有効期限: 2007年 3月31日迄)  
■表示価格は本体のみ。別途、運搬設置費等が必要です。  
他に指定数量10倍以下対応2坪タイプもございます。

資料請求・お問い合わせは TEL (06) 6942-8020

特徴

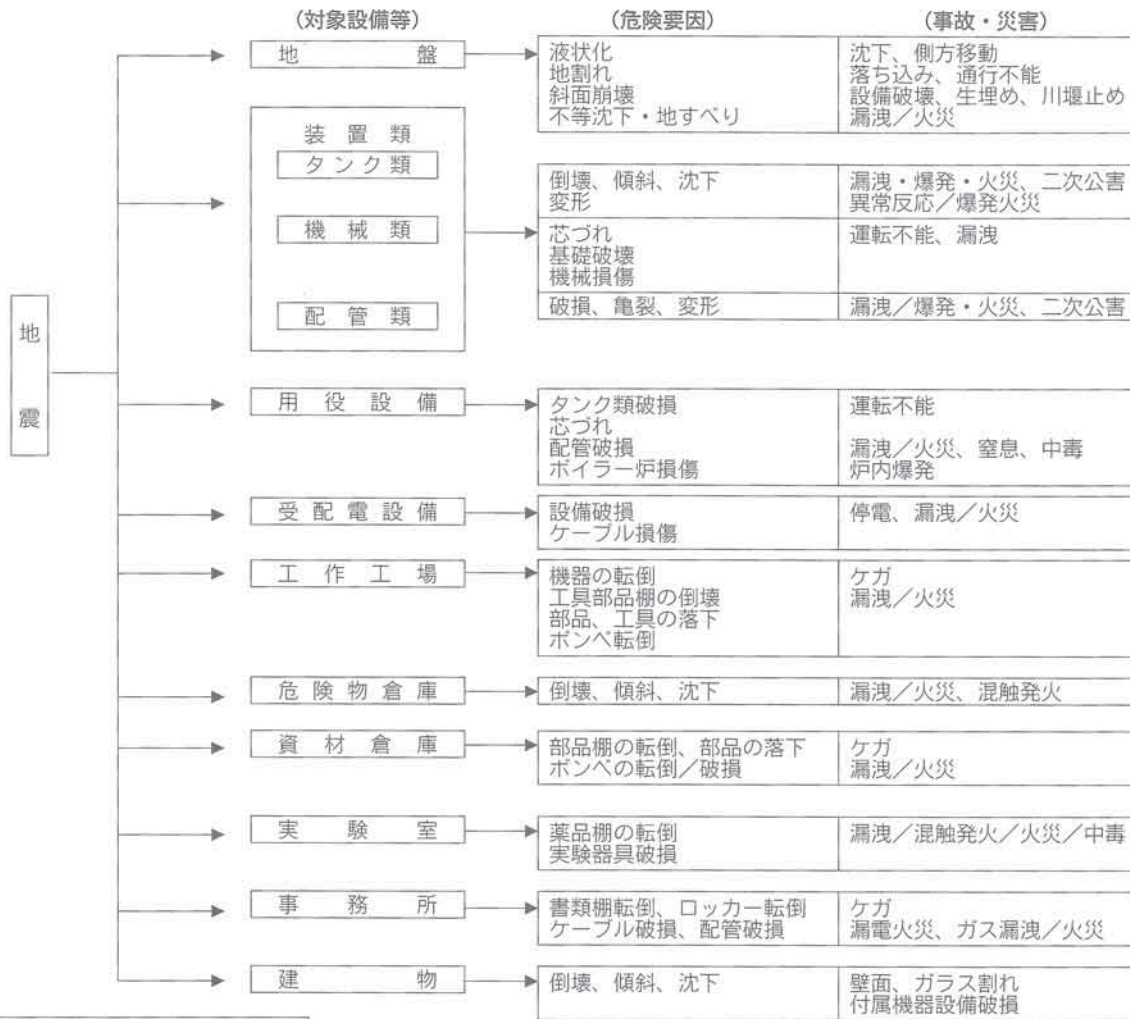
- 1.現場施工はクレーンでの据付のみでスピーディー
- 2.ボックス式で、移設も可能
- 3.必要な設備は標準装備済み (ベンチレータ、留めマス、鋼板製床等)

大和工商リース株式会社  
本社: 〒540-0011 大阪市中央区農人橋2丁目1番36号ビッピル  
ISO9001/ISO14001認証取得



## 地震による危険

### 地震による地盤・設備の危険



### 地震時における作業の危険

- サンプルング、調合作業 : 漏洩/火災
- 原料受入作業 : 漏洩/火災
- 火気工事 : 爆発/火災の火源
- 高所作業 : 転落
- 層内作業 : 酸欠、中毒
- 地下作業 : 崩壊、浸水、ガス噴出
- 重量物作業 : 落下
- 掘削作業 : 崩壊、浸水

### 津波による危険

- 設備の破壊
- 浸水
- 波動死

**HATSUTA**  
ECOSS-DRY & WET

### ハツタのエコサイクルシステム

ハツタの「粉末消火薬剤エコサイクルシステム」は、回収した薬剤の異物・変質物を確認・除去し、ハツタ独自のシリコン処理、水分の除去を行って均質化し、原料化するものです。その後、蛍光X線分析装置による厳しい検査に合格し、現行製品と同等の性能・品質を有するものだけが消火薬剤としてリサイクルされます。消火薬剤をリサイクル使用することは「限りある資源の有効利用」と「地球環境汚染防止」に貢献でき、環境問題に取り組むハツタとしても今後さらに力を注いでまいります。



ECOSS-DRY series

ECOBASE ECOBOX

環境を考えた消火器



環境を守る消火器設置台



環境と共存するボックス



 株式会社 初田製作所  
http://www.hatsuta.co.jp

**平成19年度第 1 回 危険物取扱者試験**  
**甲種・乙種・丙種 4 月 22 日(日)**

(財)消防試験研究センター大阪府支部では、平成19年度 第 1 回 危険物取扱者試験を 4 月 22 日(日)、東大阪市内の大阪商業大学で甲種、乙種第 1～第 6 類及び丙種について実施の予定です。

試験日	平成19年 4 月 22 日(日) ・乙種第 4 類(午前・午後) ・甲種、第 4 類以外の乙種、丙種(午後)
試験会場	大阪商業大学 (東大阪市)
願書受付	平成19年 3 月 15 日(木)～ 3 月 28 日(木)必着 (郵送又は持込)
願書受付場所	(財)消防試験研究センター大阪府支部 大阪府中央区谷町2-9-3 ガレリア大手前ビル 2 F TEL 06-6941-8430

**12月の試験結果**

**甲種 29.8%、乙種第 4 類 42.1%**

(財)消防試験研究センター大阪府支部では、平成18年度 第 4 回危険物取扱者試験を平成18年12月 3 日(日)、大阪市立大学 (大阪市住吉区) で実施しましたが、その結果が平成18年12月 20 日(木)に発表されました。

試験区分別の合格率は、次のとおりです。

区分	受験者数	合格者数	合格率(%)
甲種	383	114	29.8%
乙種第 1 類	80	70	87.5%
乙種第 2 類	99	73	73.7%
乙種第 3 類	88	60	68.1%
乙種第 4 類	2,917	1,228	42.1%
乙種第 5 類	78	62	79.5%
乙種第 6 類	92	69	75.0%
丙種	340	196	57.6%

なお、(財)消防試験研究センターでは試験結果をインターネットのホームページにも掲載しています。掲載期間は12月 20 日(木)の正午から 1 ヶ月間です。

(財)消防試験研究センターHPアドレス  
<http://www.shoubo-shiken.or.jp/>

**合格への近道!**

当協会では受験準備講習案内「合格への近道!」を 2 月中旬頃に作成の予定で、受講手続きは 3 月中旬より郵送受付で実施する予定です。講習会は、甲種、乙種第 4 類及び丙種について下記のとおり 4 月上旬から中旬頃にかけて開催の予定です。

なお、平成18年度 第 5 回危険物取扱者試験が 2 月 12 日(月・祝)大阪商業大学で実施されることに伴い危険物取扱者の資格取得のための受験準備講習会を 1 月 23 日より開催します。空席のある会場につきましては、講習日の前日まで受付しておりますので当協会まで電話 (06-6531-9717) でご確認の上、手続きしてください。

**平成19年度第 1 回 (手続きは 3 月中旬から)**

種別	講習日	時間	会場	最寄駅	
甲種	4月9日(日)	9時30分	pia NPO	地下鉄 大阪港駅 4号出口より4分	
	4月11日(火)	16時			
	4月13日(木)	16時			
乙種第 4 類	1コース	4月5日(木)	pia NPO	"	
		4月6日(金)			16時
	2コース	4月11日(木)	大阪府商工会館	地下鉄 本町駅 17号出口よりすぐ	
		4月12日(金)			16時
	3コース	4月12日(金)	10時	東大阪市民会館	近鉄奈良線 永和駅よりすぐ
		4月13日(土)			
土 日 Aコース	4月7日(日)	9時30分	pia NPO	地下鉄 大阪港駅 4号出口より4分	
	4月8日(月)				16時30分
土 日 Bコース	4月14日(日)	9時30分	pia NPO	"	
	4月15日(月)				16時30分
丙種	4月16日(月)	9時30分 16時30分	四ッ橋ビル	地下鉄 四ッ橋駅 2号出口よりすぐ	

**地下タンク漏れ常時監視装置**

(財)全国危険物安全協会  
 認定番号12・13号



**地下タンク点検の事ならお任せ下さい!**

安価お見積りをご提示させていただきます。

危険物設備の新設・改造のご相談を受け賜ります。

**業務内容**

地下タンク漏洩点検、地下タンク埋設工事、地下タンク内清掃、ガソリン計量機の検定・整備・販売、給油機・メーター・ノズル機器等の販売、危険物施設の油配管設備工事、危険物の保安点検・各種の巡回清掃、危険物の各種消防手続、給油所の機器販売、地下タンク計測機器販売

点検業者用の液相部機器販売 **日本スタンドサービス株式会社**  
<http://www.nssk.co.jp/> 〒578-0911 本社/大阪府東大阪市中新開2-11-17  
 TEL : 0729-68-2211 FAX : 0729-68-3900



## 平成18年度第4期 危険物取扱者 保安講習について

### 保安講習の制度について

この講習は、消防法第13条の23に定められた、いわゆる法定講習です。

危険物製造所等（危険物を貯蔵したり取扱っている施設）で危険物の取扱いに従事している危険物取扱者は定められた期間内に受講しなければなりません。

定められた受講期限は、原則として危険物の取扱いに従事した日から、1年以内（ただし、免状を取得した日、又は前回講習会を受講した日から3年以内）となっています。（規則第58条の14）

### 受講申請について

保安講習受講申請は原則として郵送受付で行なっております。

受講手数料（4,700円）は郵便払込で、また、今年度より、申請書の書式が変更となっていますので、旧年度の申請書は使用できませんのでご注意ください。

受講申請書の送付は下記期間内をお願いします。

なお、平成18年度保安講習受講申請書（開催案内・

申請専用封筒（黄色）・専用郵便払込用紙・申請書）は府下各消防本部及び消防署予防課で配布しています。

### < 4期 >

郵送受付 平成19年 1月26日(金)～2月1日(木)消印分

持込受付 平成19年 1月29日(月)～1月30日(火)

## 平成18年度 保安講習会予定表 (平成19年 2月6日～2月21日)

### ◇一般の部

期別	回	実施日	曜日	講習会場	開始時間
4期	56	2月6日	火	大阪府商工会館	13:30
	57	2月9日	金	東大阪市民会館	13:30
	58	2月13日	火	茨木市福祉文化会館	13:30
	59	2月14日	水	*サンスクエア堺	13:30
	60	2月16日	金	*サンスクエア堺	13:30
	61	2月19日	月	大阪府商工会館	13:30
	62	2月21日	水	東大阪市民会館	13:30

- 注 1 各会場とも駐車場は使用できません。ただし、会場欄中\*印は有料駐車場があります。  
 2 講習時間は3時間です。  
 3 平成19年度の講習は、平成19年6月下旬から平成20年2月下旬かけて行なう予定です。

### 地下貯蔵タンク等の漏れの点検はお済みですか？

～平成16年4月1日 法令改正施行～

地下に埋設されたタンクおよび配管の腐蝕を発見することは大変難しく、もし、発見が遅れば大量の漏えい事故につながります。地中に拡散した油等の、回収はとても困難であり、タンクを掘り起こし周囲の土をすべて入れ換えざるを得ない場合もでてきます。このようなことから「地下貯蔵タンクおよび地下埋設配管に係る定期点検（漏れの点検）」の基準が見直され施行されることになりました。

各種燃料油販売／危険物施設工事／危険物施設法定点検／危険物貯蔵所等中和洗浄工事／廃油スラッジ等処分



OIL & MAINTENANCE  
山田砥油株式会社

〒578-0912 東大阪市角田1丁目8番26号  
Tel. 0729-62-4777  
Fax. 0729-62-4778  
http://www.ymd-o.co.jp

## 都市との共存 — 正確 安全 確実 — 危険物設備なら信頼の技研。

危険物タンクの漏洩検査  
(平成16年4月1日法令改正対応)

- 危険物設備の設計・施工
- 発電設備(非常用)燃料タンクの製造・販売
- 危険物タンクまわりの付属機器の販売

株式会社 技研

〒530-0043 大阪市北区天満4丁目11番8号 工技研ビル TEL.06-6358-9467(代表)

ヤマト油設株式会社

〒592-8352 堺市築港浜寺西町7-2 TEL.072-269-2345

危険物設備の安全をトータルにリードする

# GIKEN